

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たまキッズルーム豊田		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日 ～ 2025年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34 (回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日 ～ 2025年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な知識や経験を持った資格者が対応している	強度行動障害実践研修修了者や作業療法士などを中心として、計画的に個別支援や専門的支援を取組むようにしている。日々の療育も、重複して経験を積ませる活動や未経験の取組み等毎日違う活動を提供できるように企画実施している。	更に当事者や保護者の意見に寄り添って、療育活動の幅を広げていきたい。また、組織的・専門的な技術を高めていくために、症例検討や情報統制を図る研修も計画的に実施できるようにしていきたい。
2	地域のイベントや行事に参加している	市の広報や企業のイベント行事、他事業所の催しなどを事前に確認して、ご家庭の事情で参加できないお子様にも沢山楽しんでもらえるようにしている。また、公共交通機関を利用する事で将来的に社会性も養われるような活動も取り入れ実施している。	行政や地域、他事業所と関われるイベント行事に更に密に携われると良い。その場で出会ったお子様同士の交流にも繋げて、社会的自立への自信を高めて欲しい。
3	家庭連携・相談支援	専門的な知識や経験を備えた従事者より、各ご家庭での成長の悩みや向上について、医療や進路、将来についての情報を日々の対応やサービス提供記録などで確認し、アドバイスできる体制をとっている。親子交流型イベントを実施し助力している。医療的な関わりが持てないご家庭に対して情報を提供し、医療との繋がりを築く事ができている。	各ご家庭同士で情報交換、交流できる環境の提供は計画的に実施できていないので、体制を整えて提供していきたい。医療や進路についての情報もより多く提供できるように研修の機会を設けられると良い。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材の定着・高齢化	業種的・制度的な問題は大きくある部分ではあるが、組織として柔軟な対応や風通しの良い環境を提供できるようになると良い。お子様やご家庭に対して安定的な福祉サービスを提供していけるようにしていきたい。	会社としては安心して働ける事業所の環境作りは今後も取り組んでいきたい。人材の高齢化も進んでいくので、将来的な人材の育成・確保は地域とも連携して良い方法を探していければ尚良い。
2	環境整備	療育は充実しているが、児童も物理的に成長していくので、安全に配慮した環境整備の時間の確保はもう少し設けたい。日々の業務に追われて情報を共有しきれていない部分はある。	職員の意識の違いはあるものだが、計画的に相談や会議等の時間を設定し、情報を共有して環境設定のズレを減らしていきたい。

3	外部との交流	もう少し開けた事業所にしていけるとご家庭や地域に不透明な部分は減っていく印象がある。	事業所として安定してサービスを提供していく事。その先に地域との連携をより深めていきたい。
---	--------	--	--